

サンデンフォレスト(所要時間 2 時間 30 分)

施設内の自然観察

森への道を散策

【講話】クズの繁殖力、竹二草の名前の由来と薬としての利用の例、コブヤシは方位植物であるという話、ミズキはコケシの材料として利用されてきた話、クロマツの樹脂(ヤニ)の利用についてなどの話を聞く。

オオムラサキ・天蚕飼育小屋

【観察】ナナフシ、オオナガコメツキムシ、ニホントカゲ、ゴミムシ、ショウリョウバッタ、セミの抜け殻、ヒグラシとアブラゼミの体色の違い、カブトムシ、スズメバチ、カナブン、ヒカゲチョウ、アカマツとクロマツの樹姿、オオスズメバチなど

堰堤下の沢で水遊び

【観察】サワガニ、カワニナ、スギに絡みついたフジヅルなど

大林沼

【観察】スジエビなど



(ねらい)

自然と共生する工場のあり方を知ることを通して、人の手によって自然の多様性を豊かにすることができることを知ることができる。

指導体制：指導者 1 名、指導助手 2 名 に対し **対象人数**：30～35 人

準備：事前に指導者とスタッフによるコース下見と打ち合わせ

留意点：一つ一つのプログラムをゆったりと行うことができるように時間設定を行う。
指導者とスタッフによる打ち合わせを念入りに行う。

プログラムの位置付け：

小学校学習指導要領

理科 内容 B 生命・地域

3年(2)身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること

4(2)季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

5年 (1)植物の発芽・成長・結実 植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること

ウ 植物の生長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。

(2)動物の誕生 魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。

ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子の変化してかえること。

イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。

ウ 人は、母体内で成長して生まれること。

6年 (3)生き物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。